

普及啓発活動

普及啓発活動

自動車安全技術を県民に正しく理解してもらうため、その普及啓発を行う。

R6実績

(1) 自動車安全技術体験試乗会・VR体験会 … 計2回

イベント名称	愛知県庁本庁舎公開イベント	やごと感車祭
コンテンツ	▶ 親子でVR交通安全体験 (デジタルツインプラットフォーム「DiIMo」)	▶ 「アドバンスト パーク」 (高度駐車支援システム) ▶ ダイハツ予防安全機能「スマートアシスト」 (衝突回避支援ブレーキ機能 / 誤発進抑制制御機能) ▶ ドライビングポジションアドバイス
協力企業	トヨタテクニカルディベロップメント(株)	(株)アイシン、愛知ダイハツ(株)
開催日	11月3日(日・祝)	
開催場所	愛知県本庁舎1階	中部日本自動車学校
体験者数	60名(大人31名・子ども29名)	アドバンストパーク…70名 スマートアシスト…84名

(2) 高齢者交通安全広報事業(県民安全課)

- ・SKE48による交通安全トークショーや自動車運転シミュレータ体験等のイベントを開催(県内6か所)
- ・病院や薬局等の医療施設モニターを活用した啓発動画の放映(県内164施設)
- ・図書館やシルバー人材センター等における啓発ポスターの掲示(2,160枚)
- ・イベントやキャンペーンにおけるチラシ及び反射材の配布(11,500セット)

普及啓発活動

～身近な道路の危険を『親子で』VR体験～ VR空間における交通安全体験会

イベント名 愛知県庁本庁舎公開イベント

開催日 11月3日（日・祝）

会場 愛知県庁本庁舎 1F

協力 トヨタテクニカルディベロップメント(株)

体験内容

- ・ 身近な道路に潜む危険をVR空間で疑似体験し、親子で振り返りを行うことで交通安全への意識を高めてもらう
- ・ 歩行者はVRゴーグルを着用して仮想空間内を歩行
- ・ ドライバーはドライビングシミュレータで仮想空間内を走行

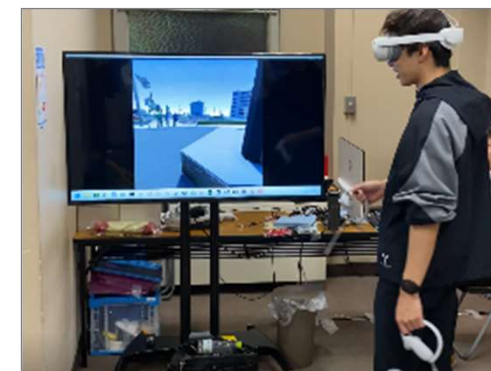
※ 体験者の行動データは交通安全技術の開発に活用される

実施結果

実施組数：30枠/30枠（1枠あたり最大2名まで体験可能）
体験者数：延べ60名（大人31名・子ども29名）



ドライビングシミュレータで運転する様子



VRゴーグルを着用して歩行する様子



普及啓発活動

アドバンストパーク / スマートアシスト の体験試乗・ドライビングポジションのアドバイス

イベント名 やごと感車祭

開催日 11月3日（日・祝）

会場 中部日本自動車学校（名古屋市昭和区）

協力 (株)アイシン、愛知ダイハツ(株)

体験内容

- ・「アドバンスト パーク」（高度駐車支援システム）
- ・ダイハツ予防安全機能「スマートアシスト」（衝突回避支援ブレーキ機能、誤発進抑制制御機能）
- ・教習指導員による「ドライビングポジションアドバイス」

実施結果

- ▶アドバンストパーク
実施組数：26枠/27枠（1枠あたり最大6名まで体験可能）
体験者数：70名
- ▶スマートアシスト・ドライビングポジションアドバイス
実施組数：47枠/50枠（1枠あたり最大3名まで体験可能）
体験者数：84名



「アドバンストパーク」



「スマートアシスト」

普及啓発活動（愛知県警察）

安全運転支援装置の機能体験

- ◆ 安全運転支援機能付き運転シミュレータの製作企業等と連携し、
高齢ドライバーを対象に、運転シミュレータを活用した安全運転支援装置の機能体験を実施。

開催日	会場	内容
・ 令和 6 年 4 月11日(木) 7 月16日(火) 9 月30日(月) ・ 令和 6 年 4 月12日(金)	・ 新明工業(株) SowZow（ソウゾウ） ・ 愛知トヨタGRGarage高辻	①警察官による交通安全講話 交通事故情勢、サポートカー限定免許制度等 ②運転シミュレータを活用した安全運転支援装置の機能体験 ・ 衝突被害軽減ブレーキ ・ 「緊急時」のハンドル操作支援 ③交通事故を疑似体験できるVRシミュレータの体験

運転シミュレータを活用した交通安全教育

- ◆ 交通安全教育チーム「あゆみ」が各警察署と連携し、加齢に伴う身体機能の変化を
自覚していただくための運転シミュレータを活用した交通安全教室を開催。

【令和 6 年の開催実績（計17回）】

開催年月	会場	回数
令和 6 年 2 月	株式会社ユニカなど	3 回
令和 6 年12月	西尾勤労会館など	3 回

他11回



運転シミュレータ